

# 腸管出血性大腸菌などの下痢原性大腸菌の消毒

## 下痢原性大腸菌の種類

- ①腸管病原性大腸菌(EPEC)
- ②腸管侵入性大腸菌(EIEC)  
赤痢菌のような細胞侵入性を持つ
- ③腸管出血性大腸菌(EHEC)  
ベロ毒素又は志賀毒素と呼ばれる毒素産生  
VTEC又はSTECとも呼ばれる
- ④毒素原性大腸菌(ETEC)  
LT又はSTと呼ばれる毒素を産生
- ⑤腸管凝集性大腸菌(EAEC)  
細胞接着性があり、EAST1と呼ばれる毒素産生

## 腸管出血性大腸菌

- ・感染症法 三類感染症
- ・学校保健安全法 第三種の感染症
- ・通常3-5日の潜伏期
- ・激しい腹痛を伴う頻回の水様便後に血便
- ・発熱軽度、多くは37℃台
- ・6-7%、下痢などの初発症状発現の数日から2週間以内に、  
溶血性尿毒症症候群(HUS)
- ・HUSを発症した患者の1-5%死亡
- ・多い血清型: O157, O26, O103, O111, O121



**手洗い**  
石ケン+流水 30秒以上

**洗い不十分**

- ・指間
- ・指先
- ・親指

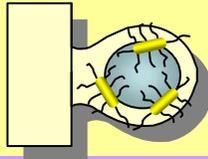
## 両性界面活性剤, 第4級アンモニウム塩, 塩素系消毒剤, アルコール系消毒剤等

### 排泄物(糞便等)の処理

- ① 使い捨て手袋, マスク, プラスチックエプロンを装着する
- ② 水洗トイレ槽に第4級アンモニウム塩を最終濃度0.1-0.5%になるように注ぐ
- ③ 5分間放置後流す
- ④ 手袋等を外し, 手洗いをする

### トイレ, 洗面所, トイレの取っ手, ドアノブの消毒

- ① 使い捨て手袋, マスク, プラスチックエプロンを装着する
- ② 第4級アンモニウム塩, 両性界面活性剤等による清拭(散布, 噴霧しない)
- ③ 手袋等を外し, 手洗いをする



### 衣服, リネン類などの処理

- ① 使い捨て手袋, 必要に応じてマスク, プラスチックエプロンを装着する
- ② 100-1000ppm(0.01-0.1%)の塩素系消毒剤に30-60分浸漬-洗濯(便等の大きな汚染は水洗後)
- ③ 手袋等を外し, 手洗いをする

加熱可能なもの: 80℃以上 10分間以上

### 耐熱性器具

- ① 使い捨て手袋, 必要に応じてマスク, プラスチックエプロンを装着する
  - ② 80℃以上の熱水, 10分間以上
  - ③ 手袋等を外し, 手洗いをする
- 非耐熱性器具**
- ① 使い捨て手袋, 必要に応じてマスク, プラスチックエプロンを装着する
  - ② アルコール系消毒薬, 両性界面活性剤, 塩素系消毒薬等による消毒
  - ③ 手袋等を外し, 手洗いをする

参考: 平成16年1月30日厚生労働省通知健感発第0130001号「感染症法に基づく消毒・滅菌の手引き」

濃度	家庭用漂白剤 (原液濃度5%)	ピューラックス (6%)	ミルトン (1%)
1000ppm (0.1%)	ペットボトル(500ml)に キャップ2杯	ペットボトル(500ml)に キャップ2杯	ペットボトル(500ml)に キャップ10杯
200ppm (0.02%)	ペットボトル(2L)に キャップ2杯	ペットボトル(2L)に キャップ2杯	ペットボトル(500ml)に キャップ2杯

消毒剤	手指皮膚	器具	環境	衣類・リネン類	排泄物
両性界面活性剤	○	○	○		
第4級アンモニウム塩	○	○	○		○*
次亜塩素酸ナトリウム		○	○	○	○
アルコール系	○	○	○		

\*水洗トイレ槽に1-5%になるように注ぎ, 5分間放置後水洗  
次亜塩素酸ナトリウム: 金属製器具には不可

両性界面活性剤: テゴ-51, エルエイジーなど  
第4級アンモニウム塩: オスバン, オロナイン-K, チアミール, ハイアミンなど  
次亜塩素酸ナトリウム: ミルトン, ピューラックス, テキサント, ハイポライトなど  
アルコール: 消毒用アルコール, 70%イソプロパノールなど

A(ppm)の消毒液をB(リットル)作るときの次亜塩素酸ナトリウム溶液(C%溶液)の必要量X(ml)

$$X(ml) = A(ppm) \times B(リットル) \div C(\%) \div 10$$

用事調整が原則, 調整後は暗所